

財部高校跡地を新たな畜産拠点へ vol.4

市は鹿児島大学と連携し財部高校跡地へ「南九州畜産獣医学拠点」の誘致および整備を計画しています。今回は拠点事業の整備計画についてご紹介します。

1 地方創生エリア

■ 2棟ある旧校舎を、研究棟と教育・連携棟へ改修します

①研究棟

研究棟には、大学の講義等で使用する講義室や実習を行うための実験室を設置します。

②教育・連携棟

教育・連携棟には、1階に地域交流スペースを設け大学の市民向け講座などを遠隔で受講したりチャレンジショップなど場所の提供を考えています。2階にはレンタルオフィスやコワーキングスペースを設け、民間企業の誘致を目指します。3階は実習を行う学生や研修生の宿泊施設を設けます。

2 産業動物モデル飼育エリア

■ グラウンドに閉鎖型の牛舎、鶏舎を設置します。牛舎の運営は民間事業者に委託し、大学等の実習・研修を受け入れながら肉用牛の飼育を行います。鶏舎の運営は鹿児島大学が行う計画です。



①次世代閉鎖型牛舎

牛舎に大型のファンが設置され、常に風が一方方向に流れる環境にすることで、夏場でも快適に過ごすことが可能です。風が吹くことで害虫の付着を防いだり、匂いの流れをコントロールすることも可能です。

②閉鎖型鶏舎

鳥インフルエンザなど病気が発生しやすい冬場を除き飼育を行います。

3 馬エリア

■ 馬舎を新設し、サブグラウンド・体育館をそれぞれ馬場に改修します。

①馬舎

20頭規模の馬舎を新設し飼育していきます。馬は功労馬など比較のおとなしい馬の飼育を予定しています。

②屋外馬場と屋内馬場

サブグラウンドは屋外馬場を、体育館は屋内馬場をそれぞれ設置し、雨天でも飼育する馬の運動や、乗馬体験などで活用すること計画しています。



鹿児島県知事 視察

令和3年12月25日に塩田知事が視察に訪れ、事業計画や施設の整備計画について現地で説明が行われました。



お問い合わせ 企画課 地域創生推進室 ☎ 0986-76-8802
財部高校跡地対策係

過去の記事は
こちらから

